

第3学年「外国語」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○ 身体的活動と合わせて、外国語の発音に慣れ親しもうとしている。
○ 発音をよく聞き、まねして発音しようとしている。
- 課題** ▼ 外国語を用いたコミュニケーションを恥ずかしがる児童が多く、積極性に欠ける部分がある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 外国語に関心をもって、他者の思いを理解しようとする力
- ◇ 基本的な英語表現や単語を用いて、世界の人々とコミュニケーションを図る力
- ◇ 世界の国々の文化や言語を理解し、グローバルに活躍しようとする力

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 毎授業の導入でチャンツを取り入れ、基本表現や単語を繰り返し発音することで、楽しく自然に声を出せるようにする。
- ゲームやアクティビティを中心とした授業を展開し、主体的に参加しやすくする。

言語活動の工夫

- 聞いたり、話したりする活動の中で、ジェスチャーや表情を工夫しながら「やり取り」や「発表」をする機会を設ける。

ICT活用の工夫

- デジタル教科書を用いて、活動の見本を動画で見せることでアクティビティの内容が視覚的に理解できるようにする。

課題解決力育成の工夫

- 自身の思いを伝えるフレーズから、適切なものを選んで答える問題に取り組む。

達成目標

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国の言語や文化について体験的に理解し、自らコミュニケーションを図ろうとする態度や外国語の基礎的な能力を育成する。